

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 4月 1日

事業所名 淡路こども園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		新ケースについては丁寧に対応することができるよう配置されている	各クラスともに職員体制は取れているが、あわせて人材育成に力を入れていきたい
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・マークや写真を使ってわかりやすくしている ・建物が古い為、バリアフリーは難しい。又、木が朽ちたりし危険な所を見つけた時はすぐ補修するようにしている	バリアフリー化していない環境がまだある。トイレ、階段、段差等改善が必要だが、とりあえず職員の対応でカバーできるところはしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		時代の変化に伴い、生活様式も変わる中、衛生面には気をつけている	清潔に過ごせるように日頃から気をつけていますが建物が古く壊れてしまうことが多いので、危険がないか等の点検や必要な所から修繕をしていきたい
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年、保護者に評価表の提出をお願いし、その結果を職員全体で共有している	評価表の結果をふまえて、苦情や要望等については丁寧に保護者対応していきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年1回(4月)、ホームページで自己評価表及び保護者向け評価表の公表をしている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価はしていないが、必要に応じて検討したい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		虐待や感染症など様々な研修を定期的実施している	職員の希望も聞いて、研修内容を充実させたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを十分に行って計画案を立て、関係職員で確認した上で、保護者にも説明し、修正部分があれば再作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		対人面、コミュニケーションを中心に、各領域の発達状況を把握し、支援している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		それぞれの項目に子どもの状況と具体的な支援内容を書くようにしている	支援内容については、より具体的にわかりやすく表現したい
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援計画をふまえて支援しているかどうかのチェックを定期的確認していきたい
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもの状況に合わせて、クラス毎にプログラムを立てている	他のクラスのプログラム等も参考にして活動の幅を広げたい
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・クラスで保育案を話し合っ相談しながら活動を決めている ・それぞれの子どもの発達段階や季節等によって活動の内容を変える等工夫している	活動プログラムの進め方等、職員が工夫して変えていくようにしたい
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動と本人の意思を確認しながら、無理強いないように誘いかけている	本人の主体性や意欲を引き出すような、活動を計画に盛り込みたい

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日によって出来ない日もあるが、朝の時間を使い話し合っている	打合せや予定の確認は事前にするようにしていきたい
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日ではできていないが、気付いたことがある場合には必ず共有するようにしている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録(日誌)の徹底とチェックを行っている	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを行い、支援計画の見直しを定期的に行っている	子どもの状況によってモニタリングの頻度を検討したい
関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議は子どもに関わる職員が出席して行っている	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と連絡を取り合い連携、協力して支援に努めている	子育て支援室、家庭児童相談室、北部こども相談センター等の関係機関と更に連携していきたい
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもは少ないが、週2日看護師を配置している	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、関係機関と連携を取って支援していきたい
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアの必要な子ども以外にも必要に応じて子どもの主治医と連絡を取っている	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、看護師が窓口となって主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えたい
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就園先(保育園や幼稚園)と情報共有し、お互いに協力して支援にあたっている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学先とお互いに訪問したり、情報共有する等、連携して支援している	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の事業所とは連絡を取り合ったり、情報交換、助言を求める等、連携しています	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナ禍の為、交流等は難しい状況にあり、あまり外部と関わる機会を設けられなかった	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		東淀川区自立支援協議会こども部会の部会長として運営に携わっている	学校や事業所、区役所も含めて顔の見える関係ができてきているので、今後も地域の障がいのある子どもや家族の問題について連携していきたい
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話等で話をしたり親子日に詳しく聞き取りをするよう努めている	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		子育てセミナーや勉強会等を実施して、親子関係が改善され、保護者の理解が深まり、負担感が軽減されるように取り組んでいる	家庭の状況、母親の状態によって、一般的な支援だけでは難しい場合がある。個別的な支援や配慮の検討が必要
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時の説明だけでなく、保護者によっては詳しくお話をさせていただいている		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		作成した個別支援計画について時間を作って、丁寧に説明、確認をし、同意を得ている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		親子通園日に話を聞き、ケースによって個別相談等につなげている。また子育てセミナー、勉強会を行っている	こまめに保護者の意見を聞いて相談しやすい雰囲気、関係を築いていきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		各クラスから保護者のリーダーを選出し、委員会を実施。保護者会の内容を企画し、親睦を深められるように組織している	今年度はコロナ渦で対面での企画ができなかったが、今後も運営をバックアップしたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者からの相談や申入れについては随時受け付けている事を周知し、対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、園便り、ホームページの更新をしている。予定や情報については、こまめにプリントを配布している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報ファイルについては鍵のかかる書庫に保管し、個人情報同意書を取り、適切に扱っている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		外国の方(保護者)とのやりとりは丁寧を心がけ、伝えているかどうか確認する等の配慮をしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	2020年度に引き続き2021年度もコロナ渦の為、行事は行わなかったが、こども食堂の手伝い等、地域活動に参加している	感染症対策をしながら、どのような形ですが工夫があるが、内容を検討して前向きに取り組みたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		感染症や自然災害時の対応について、職員研修を行い、保護者への周知に努めている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災、地震、津波等を想定した訓練を月1回実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬やてんかん等の状況については看護師を中心に聞き取り、職員に情報提供している	原則、こども園での服薬は行っていませんが、状況に応じて必要であれば与薬依頼書を提出していただいて、対応しています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーについては医師の指示書の提出及び保護者からの聞き取りを丁寧に行い、事故のないように食事提供の際も気をつけている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		小さなケガやヒヤリハットについて必ず記録を残し、職員に周知し、対策をしっかり取るよう心がけている	ケガや嘔吐等の処置について、定期的に看護師が研修を行っているが、職員がしっかり対応できるようにしていきたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に虐待の研修を行うと共に、虐待防止委員会を毎月開いて、報告と対策について話し合いをしている	職員の声のかけや対応について、小さな事でも虐待防止委員会に報告をあげてもらっているが、風通しの良い職場環境を目指したい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		車イス利用、ヘッドギア利用の利用児については、事前に同意書を取ると共に、利用時間と理由等を記録に残すようにしている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。